

※平成31年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

事業番号 0239

平成31年度行政事業レビューシート (国土交通省)									
事業名	最先端観光コンテンツインキュベーター事業 (国際観光旅客税財源)			担当部局庁	観光庁			作成責任者	
事業開始年度	平成30年度	事業終了(予定)年度	平成32年度	担当課室	観光資源課			課長 英 浩道	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	観光立国推進基本法第13条、第23条			関係する計画、通知等	国際観光旅客税の用途に関する基本方針等について 観光ビジョン実現プログラム 未来投資戦略 経済財政運営と改革の基本方針				
主要政策・施策	観光立国、地方創生			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	『楽しい国 日本』の実現に向けた観光資源活性化に関する検討会議の提言内容及び「明日の日本を支える観光ビジョン」に掲げられた2020年の訪日外国人旅行者数4,000万人、訪日外国人旅行消費額8兆円等の実現に向けて、訪日外国人にとって新しい観光コンテンツを開拓・育成し、消費機会を拡大することを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	潜在的な観光資源やVR・AR等の最先端ICTを活用した観光、夜間帯の観光など、訪日外国人にとって新しい観光コンテンツの開拓・育成に関する取組を行う。 具体的には、有識者会議の開催、マーケティング調査や課題抽出、展開事業の実施、ガイドラインの作成等を実施。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度要求		
		補正予算			450	1,300			
		前年度から繰越し			-	-			
		翌年度へ繰越し			-	-			
		予備費等			-	-			
	計	0	0	450	1,300	0			
	執行額			450					
	執行率 (%)	-	-	100%					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	-	-	100%						
平成31・32年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	31年度当初予算	32年度要求	主な増減理由					
	観光振興調査費	1,291							
	委員等旅費	6							
	職員旅費	2							
	諸謝金	1							
	計	1,300	0						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 31年度	目標最終年度 32年度
	展開事業の事業化率100%を目指す。	展開事業翌年度において、事業化された事業数/展開事業総数	成果実績	%	-	-	-	-	-
			目標値	%	-	-	-	100	100
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	観光庁調べ								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 31年度	目標最終年度 32年度
	平成32年度までに訪日外国人旅行者の滞在中における娯楽サービス費購入率を50%程度まで引き上げる。	訪日外国人旅行者の滞在中における娯楽サービス費購入率	成果実績	%	31.6	35.7	40.9	-	-
			目標値	%	-	-	-	-	50
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	観光庁「訪日外国人消費動向調査」※暦年(【平成30】 http://www.mlit.go.jp/common/001283010.xls 表2-1・費目別購入率表内F21セル【平成29】 http://www.mlit.go.jp/common/001226298.xls 第4表・費目別購入率表内F19セル【平成28】 http://www.mlit.go.jp/common/001179510.xls 第4表・費目別購入率表内F19セル)								

活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標		単位	28年度	29年度	30年度	31年度 活動見込	32年度 活動見込
		最先端観光コンテンツ発掘・育成するための展開事業 件数	活動実績	件	-	-	16	-	
当初見込み	件		-	-	15	30			
単位当たり コスト		算出根拠		単位	28年度	29年度	30年度	31年度活動見込	
		展開事業費／展開事業件数	単位当たり コスト	千円	-	-	11	15	
計算式	事業費 / 件		-	-	170/16	450/30			
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	6 国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の確保・強化							
	施策	20 観光立国を推進する							
	測定指標	定量的指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 年度	目標年度 32年度
		訪日外国人旅行者数	実績値	万人	2,404	2,869	3,119		
			目標値	万人	-	-	-		4,000
		定量的指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 年度	目標年度 32年度
		訪日外国人旅行消費額	実績値	兆円	3.7	4.4	4.5		
			目標値	兆円	-	-	-		8
		定量的指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 年度	目標年度 32年度
		地方部における外国人延べ宿泊者数	実績値	万人泊	2,753	3,266	3,636		
目標値			万人泊	-	-	-		7,000	
定量的指標			単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 年度	目標年度 32年度	
外国人リピーター数	実績値	万人	1,426	1,761	1,938				
	目標値	万人	-	-	-		2,400		
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
本事業を通じて、日本全国各地に眠る資源を掘り起こし、磨き上げ、魅力あふれる観光コンテンツへと育成することは、上位施策における目標の達成に寄与する。									

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	娯楽サービスを支える観光コンテンツが、必ずしも、訪日外国人旅行者向けに整備されておらず魅力的なものとなっていないため、本事業により、消費機会の拡大を図ることは、訪日外国人旅行消費額の増加や地域振興にも寄与するものであり、国民や社会のニーズがある。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	個々の民間事業者等だけで新たな観光コンテンツを発掘・育成することはリスクが高く、また、新たな観光コンテンツの発掘・育成には、官と民が連携して取り組むべき事項が存在することから、国が地方公共団体や民間事業者と連携をして実施する必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	訪日外国人にとって新しい観光コンテンツを発掘・育成することは、消費機会の拡大につながり、訪日外国人旅行消費額の増加や地域振興にも寄与するものであることから、政策目的の達成手段として、必要かつ適切な事業であり、優先度は高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	調査業務を含んでおり、企画競争にて実施している。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	公募段階で提示した範囲内であり、妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	企画競争の段階から必要経費の内訳を提示させている。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	本事業の実施に必要なものに限定されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	国費の対象となる経費を定めるなど、コスト削減等に向けた工夫を行っている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	本事業で新たな観光コンテンツを開拓・育成することは、娯楽サービス費の向上に寄与するものであるため、成果実績は成果目標に見合っている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	展開事業の見込み件数15件に対し、審査の結果、16件を採択しており、想定範囲内である。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	マーケティング調査等の成果を踏まえてナレッジ集を作成しており、成果を活用できている。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	展開事業を実施するにあたり、ターゲット設定や地域資源の活用の観点から、原則として、地方公共団体や民間事業者、DMOと連携し、地元が中心となって実施することが重要。また、平成30年度の展開事業16件のうち事業化が困難であった3件について、継続が困難な理由は主に採算性の確保であったことから、採択段階及び事業実施中においても採算性を注視することが重要。また、マーケティング調査や展開事業により得られた知見をとりまとめたナレッジ集について、各地域でコンテンツ造成を行う際に参考となる内容とすることが重要。	
	改善の方向性	展開事業の実施に当たっては、実施主体へのDMOの関与を重要視するとともに、専門家によるコーチング支援を実施することで事業が継続できるような支援策を講じていく。また、コーチング支援によって得られる知見をナレッジ集に反映させていくことで、内容の充実を図る。	

外部有識者の所見

--

行政事業レビュー推進チームの所見

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
平成30年度	国土交通省 (新30 - 0018)						

※平成30年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

観光庁
450百万円

諸謝金・職員旅費・委員等旅費
0.2百万円

【随意契約(企画競争)】

A. 有限責任監査法人トーマツ
449百万円

・事業の進捗及び内容の方針について意見又は助言を得るための有識者会議を開催。
・海外旅行時や訪日旅行時の意識や行動特性に関する全体的な傾向を把握するためのWebアンケート調査・分析を実施。
・国内の体験型観光コンテンツを充実させるため、国内外の事例調査や展開事業による実証等から得られた示唆に関し、「地域活性化に向けた観光コンテンツ拡充推進会議」等での議論を踏まえ、自治体やDMO等に参考となるナレッジ集を作成。

【公募・採択先へ支出】

B. 民間会社等
170百万円

訪日外国人旅行者の潜在的なニーズを把握し、消費機会の拡大が期待できる新たな体験型観光コンテンツを開拓・育成するため、「訪日外国人旅行消費額の増加」や「訪日外国人の地方誘客」に向けた展開事業を計16件実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.有限責任監査法人トーマツ			B.(株)NTTドコモ		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
労務費	業務に係る労務費	183	外注費	制作費等	9
展開事業費	調査費等展開事業16件への支払い	170	借料・損料・使用料	大会調整費等	7
外注費	調査費等	88	その他の経費	設計費等	4
国内旅費	交通費・宿泊費等	3			
海外旅費	交通費・宿泊費等	3			
会議費	会場使用料等	1			
謝金	謝金・交通費	1			
計		449	計		20

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	有限責任監査法人トーマツ	5010405001703	・有識者会議を開催。 ・Webアンケート調査・分析。 ・ナレッジ集の作成。 ・展開事業の管理等	449	随意契約 (企画競争)	2	99.9%	-
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)NTTドコモ	1010001067912	インバウンド向けARスポーツ観戦サービス実証	20	その他	-	-	
2	石見観光振興協議会		石見神楽を活用したナイトタイムコンテンツ造成事業	12	その他	-	-	
3	豊島区	8000020131164	大塚駅周辺エリアにおけるナイトタイムコンテンツ発掘／訪日外国人向け消費喚起事業	12	その他	-	-	
4	鳥取砂丘デジタルアクティビティ開発共同体		すなばASOBI	12	その他	-	-	
5	(一社)沖縄リゾートウェディング協会	9360005004761	リゾートウェディングツーリズムモデル確立事業	12	その他	-	-	
6	釧路湿原・阿寒摩周アドベンチャーツーリズム推進協議会		ひがし北海道エリアにおけるアドベンチャーツーリズム・ラグジュアリー市場顧客向け高付加価値商品造成事業	12	その他	-	-	
7	(一社)若狭高浜観光協会	5210005008938	高浜町における観光資源を活用したインバウンド向け通年体験観光サービスモデル創生事業	12	その他	-	-	
8	ナイトエンターテインメントによる地域経済の活性化協議会事務局		ナイトエンターテインメントによる地域経済の活性化	12	その他	-	-	
9	松江インキュベーター事業実行委員会		美肌のススメ! 温泉体験プログラムモデル事業	11	その他	-	-	
10	(株)リクルートライフスタイル	4010001149427	観光地での隙間時間における多言語コミュニケーションツールを活用した『リラクゼーションサービス業』への導入モデル事業	11	その他	-	-	